

常陸国分寺

東国の大寺



常陸国分寺復元模型（石岡市立ふるさと歴史館）

平成 28 年

6月1日(水) ▶ 8月28日(日)

入館無料 / 月曜休館（祝日の場合は翌日）

午前 10 時～午後 4 時 30 分

展示解説

6月4日(土)

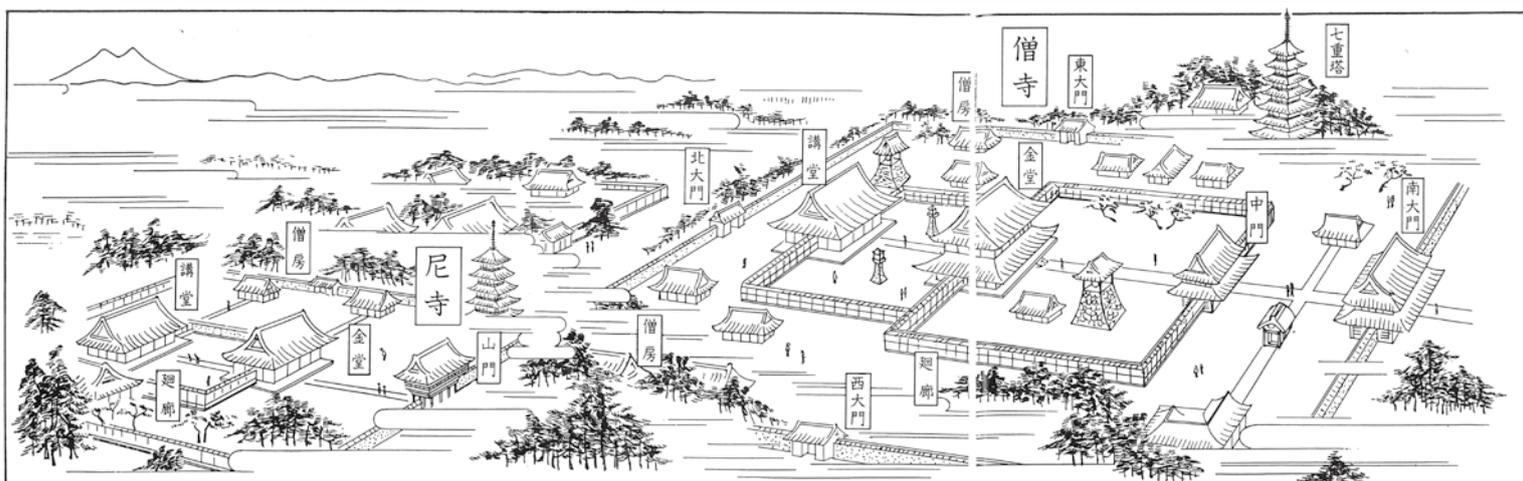
午前 10 時 30 分～11 時

直接ふるさと歴史館にお集まりください。

石岡市立ふるさと歴史館

石岡市総社 1-2-10 石岡小学校敷地内

電話 0299-23-2398



常陸国分寺

東国の大寺

常陸国分寺は、天平11年(741)に聖武天皇の命令により建設された寺院です。その跡地には、現在も同名の寺院「国分寺」が存在しています。礎石等の残りが良いことから、大正11年に国の「史跡」に指定され、昭和27年には遺跡の国宝にあたる「特別史跡」に指定されています。

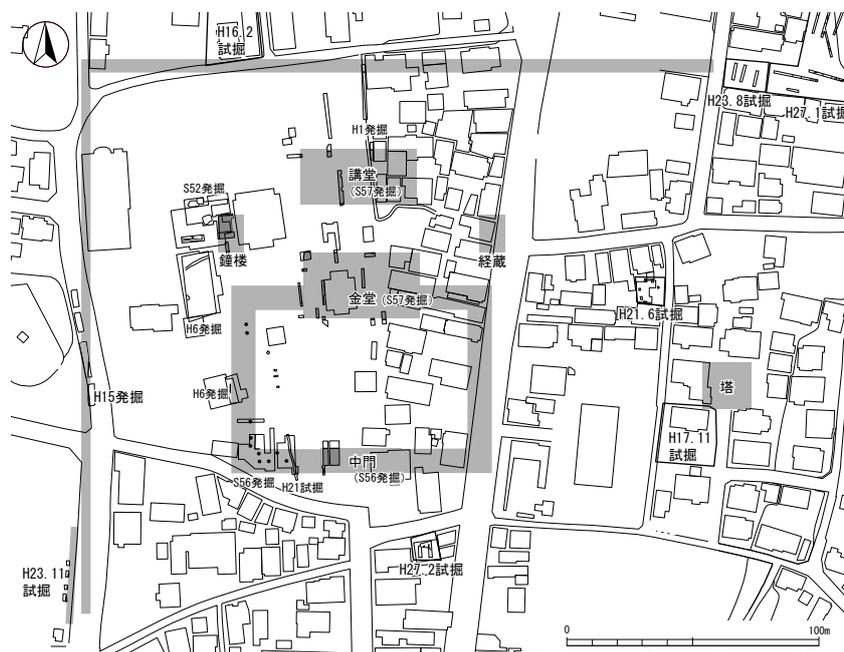
昭和52年には鐘楼、昭和56・57年には金堂や講堂、中門、回廊等の中心部の調査が行われ、全国最大規模といわれる陸奥国分寺や武蔵国分寺に匹敵する規模をもつことが推定されています。

また、周辺の開発等に伴う発掘調査によって、中心部である伽藍地を区画する溝や、その周囲の寺院地の様子も明らかになってきています。

今回の企画展では、これら最新の調査成果から復元される常陸国分寺の姿をご紹介します。



▲「佛」刻書土器(昭和52年発掘)



▲常陸国分寺跡 復元図



石岡市立ふるさと歴史館

開館時間 午前10時～午後4時30分
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
交通 JR常磐線石岡駅西口より徒歩約12分
駐車場あり
住所 石岡市総社1-2-10 石岡小学校敷地内
電話 0299-23-2398

